

令和5年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立男女共同参画センター中央館
施設所管課・担当	市民局ダイバーシティ推進室男女共同参画課（電話：06－6208－9156）
条例上の設置目的	男女共同参画社会の実現をめざす活動の拠点として、男女が社会の対等な構成員として社会のあらゆる分野における活動に参画し、個人として能力が発揮できるよう多面的な支援を行うことにより、男女共同参画社会の形成に寄与することを目的とする。
業務の概要	センター施設の管理・運営、男女共同参画社会の形成に関する情報の収集及び提供、男女共同参画社会の形成に関する講演会・講習会・研修会等の開催、男女共同参画に係る問題に関する相談、男女共同参画社会の形成に関する啓発、男女共同参画社会の形成に関する調査及び研究、その他市長が必要と認める事業
成果指標	貸室等利用率／貸室等利用者満足度／情報・図書コーナー利用者数／講座受講者数／講座受講者満足度／相談事業満足度／女性チャレンジ応援拠点利用者数／女性チャレンジ応援拠点利用者満足度
数値目標	69.8％以上／80％以上／9,000人以上／800人以上／80％以上／80％以上／1,000人以上／80％以上
指定管理者名	大阪市男女共同参画推進事業体 （代表者）一般財団法人大阪男女いきいき財団 （構成員）サントリーパブリシティサービス株式会社 （構成員）グローブシップ株式会社
指定期間	令和2年4月1日 ～ 令和7年3月31日
評価対象期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	貸室等利用率	貸室等利用者満足度	情報・図書コーナー利用者数	講座受講者数
数値目標	69.8％以上	80.0％以上	9,000人以上	800人以上
年度実績	65.6%	99.3%	8,097人	1,347人
達成率	94.0%	124.1%	90.0%	168.4%

成果指標	講座受講者満足度	相談事業満足度	女性チャレンジ応援拠点利用者数	女性チャレンジ応援拠点利用者満足度
数値目標	80.0％以上	80.0％以上	1,000人以上	80.0％以上
年度実績	98.4%	98.5%	1,028人	99.0%
達成率	123.0%	123.1%	102.8%	123.8%

利用状況

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	401,091	311,191	89,900
稼働率	65.6%	58.8%	6.8%

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	246,254,377	246,756,959	1,063,377	定期点検費の増額等のため
	計画	245,191,000	244,754,000		
利用料金収入	実績	59,519,020	52,258,800	3,859,020	貸室等利用率増のため
	計画	55,660,000	55,501,000		
その他収入 （自主事業収入）	実績	8,390,669	7,043,198	△ 3,975,331	
	計画	12,366,000	12,271,000		
合計	実績	314,164,066	306,058,957	947,066	
	計画	313,217,000	312,526,000		

令和5年度 指定管理者年度評価シート

支出		当年度	前年度	差異(実績-計画)	主な要因
人件費	実績	157,315,595	150,321,626	2,375,595	一部の項目において単価増のため
	計画	154,940,000	154,940,000		
物件費	実績	148,994,779	147,284,308	1,959,779	施設管理費の増等のため
	計画	147,035,000	146,431,000		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	4,067,716	6,215,269	△ 7,174,284	
	計画	11,242,000	11,155,000		
合計	実績	310,378,090	303,821,203	△ 2,838,910	
	計画	313,217,000	312,526,000		

4 管理運営状況の評価(1次評価)

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
貸室等利用率	94.0%	B	
貸室等利用者満足度	124.1%	S	
情報・図書コーナー利用者数	90.0%	B	
講座受講者数	168.4%	S	
講座受講者満足度	123.0%	S	
相談事業満足度	123.1%	S	
女性チャレンジ応援拠点利用者数	102.8%	B	
女性チャレンジ応援拠点利用者満足度	123.8%	S	

(2) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	S	- 施設・備品等の維持管理に関し、損傷等に係る本市への報告にあたっては、その具体的な内容の明示とともに改善提案がなされている。 - 親子、障がいのある方及び高齢の方並びに外国人の利用者への配慮・対応がなされている。
事業計画の実施状況	B	- 施設利用の状況(利用者数、利用率)は、指定期間中過去最高値を達成した。また、年間を通して各月とも稼働率が前年度を上回り、特に11月は76.2%と高い稼働となった。 - 施設の利便向上のためWi-Fiの貸出を始めた。 - 臨時会館で近隣地域の住民に情報・図書コーナーのサービスを認知してもらうため、「情報・図書コーナーまつり」を開催した。利用、学びの場としての継続的な来館につなげるため、小説家の講演会、本のおしごと体験、絵本に登場するパンを親子で作るセミナーなどを実施し、参加者は300人にのぼった。 - 若年層の相談にはメールやLINEが多い傾向がある。特に10代、20代向けの「女の子のためのクレオ保健室」については、学校への「地域出前セミナー」の機会や他の事業で関係のある学校関係者にPRカードの配布協力を依頼するなど、確実に対象に届く周知工夫を行った。 - 女性のチャレンジ応援拠点において、地域活動を始めたい、または現在活動している女性・団体などを対象にした相談やアドバイスを実施した。コロナ禍を経て、活動を始めたいと考えている方が増え、拠点利用者は前年度より増加した。

令和5年度 指定管理者年度評価シート

施設の有効利用	B	展示ギャラリーを活用し、公募によりグループ団体等の活動発表の提供を行ったり、小規模展示に適したサイズのスペースとして、「ひと（人・一）棚ギャラリー」を新設し、活動発表の場を提供した。
社会的責任・市の施策との整合性	A	・LED化した共用部および処理すの照明設備を活用した省エネルギーの実践 ・デマンドコントローラーによる電力使用量の監視

(3) 市費の縮減（節減努力・収支改善に向けた取組）

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・電力およびガスの需給契約について、競争的手法により事業者を選定した。また、電力需給契約に省エネ実践サービスを付加した。 ・省エネルギーを推進し光熱水費の縮減を図るため、デマンドコントローラーを活用し、電気使用量の抑制管理を行った ・照明設備のLED更新工事について、地下2階の控室及び共用廊下の更新工事を行い、将来的な管理経費の削減と省エネ化を図った。	B	・施設運営と保守業務の専門性を持つ事業体構成員の強みを活かして、緊急度・重要度の高い維持補修を効果的・効率的に実施している。

5 利用者ニーズ・満足度等

【令和5年度実績】 スタッフ対応満足度：99.8% 受講者満足度：98.4%（男女共同参画セミナー） 【参考：令和4年度実績】 スタッフ対応満足度：99.8% 受講者満足度：97.5%（男女共同参画セミナー）
--

6 外部専門家意見

・利用者数が伸び悩んでいる情報・図書コーナーの利用促進に向けて、近隣マンションに直に足を運び、親子で参加できる情報・図書コーナーを活用したイベントや男女共同参画センターの周知を近隣住民に対して行い、着実な集客を試みたのは新たな観点と取組みとして評価できる。まだまだ利用者の伸びしろもあるとのことなので、今後に期待したい。 ・利用率については、コロナ禍以前ほどなぜ改善しきれていないのか充分に分析できているか。そのうえで、どのような活用や広報が効果的であるかをしっかり把握したうえで対応されたい。 ・各種相談業務については、今の体制で十分なのか、電話やSNSなどの受付方法、受付時間や曜日などがニーズに合っているか、必要な人に必要な相談が提供できているか等、対応の確認をされたい。男性相談にも引き続きしっかり取り組んでいただきたい。 ・基幹館としての役割をしっかりと意識した他の館との連携など、より一層取り組んでいただきたい。

令和5年度 指定管理者年度評価シート

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	A	・貸室等利用率、情報・図書コーナーの利用率は目標数値を下回ったものの、貸室利用者や講座や相談等の満足度等多数の項目で目標値を上回った。
管理運営の履行状況	B	・施設利用の状況（利用者数、利用率）は、指定期間中過去最高値まで戻った。コロナ禍以前の利用率まで徐々に回復の兆しが見えてきており、今後に期待する。 ・利用者や受講者の要望を把握し、目標達成に向けて課題分析し、利用促進に努めてもらいたい。 ・引き続き、他のクレオ大阪各館と連携し、幅広い分野をカバーして男女共同参画施策を展開していただきたい。
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性	B	・物価高騰が続いているものの、今後も経費削減に努めていただくとともに、利用料金を中心とした収入の確保に努めていただきたい。
市費の縮減（節減努力・収支改善に向けた取組）		
総合評価	B	・令和4年度に引き続き、クレオ大阪各館の統括的役割を果たすとともに、令和3年3月に策定した「大阪市男女きらめき計画」の趣旨・目的を踏まえた適切な管理を行っているとは評価できる。 ・引き続き、基幹的機能を果たす中央館として5館全体での情報共有や事業の効率化を先導する役割を担っていただきたい。